

EU エネルギー大臣 カドリ・シムソン氏が福島第一原子力発電所をご視察

2022年12月3日、EU エネルギー大臣 カドリ・シムソン氏が、廃炉の進捗状況を確認するため、福島第一原子力発電所をご視察されました。視察では、1～4号機を俯瞰できる高台から、廃炉の状況を間近でご確認いただきました。また多核種除去設備（ALPS）処理水関連設備をご覧いただきました。視察後には、地下水が原子炉建屋等に流れ込むことで発生する放射性物質を含む水の量を減らすための凍土方式の遮水壁※1や、原子炉内に溶け落ちた燃料デブリを取り出す為のイギリス製ロボットアーム※2について、また、今後の廃炉作業に向けて、世界中から技術を集めていることなどをご説明させていただきました。

当社は、今後も、長期にわたる廃炉作業を安全かつ着実に進めてまいります。

※1 凍土方式遮水壁について

<https://www.tepco.co.jp/decommission/progress/watermanagement/landwall/index-j.html>

https://www4.tepco.co.jp/library/movie/detail-j.html?catid=61709&video_uuid=usb1075c

※2 ロボットアームについて

https://www.tepco.co.jp/library/movie/detail-j.html?catid=61709&video_uuid=j3117qzu



視察前の説明会



1～4号機外観を高台より視察。7人の中央にシムソン大臣。



ALPS 処理水の説明